

# 令和 7 年度秋のまちづくり懇談会内容

日 時： 令和 7 年 11 月 22 日(土)16:30～

場 所： 鳩山中央公民館

出席者： 6 人

## 1 開 会

## 2 町長挨拶

## 3 懇 談

(1) 栗山町第 7 次総合計画～後期実施計画策定に向けて～資料①

(2) 主要施策の取組状況について 資料②

(3) 自由懇談

## 4 その他 別添資料

- ・くりやま暮らし応援電子商品券のご案内等・・・商工観光課より
- ・緊急告知 FM ラジオの企業・事業所配付について・・・総務課長より
- ・町営バス時刻表（説明なし）
- ・基盤整備状況及び地域開発構想図

## 5 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■熊の対策について	
町 民	先日、熊の目撃情報があった時、すぐに（夜 8 時ぐらい）栗山警察署が戸別訪問をしてくれた。家から四、五百メートルっていうふうに告げられついに来たかと感じた。町ではどのような熊対策を進められているのか。
町 長	熊の出没や目撃があった場合は、まず行政、猟友会、警察、この三者が現場へ行って、状況に応じた対応策を講じるのが第一段階。熊が居座るなど危険性が高まってくると、本部を作るなど少しずつレベルを上げていく。猟友会と行政がうまくいっていない自治体の報道がされることがあるが、本町では全くそういうことはなく良好な関係。本町の猟友会には 26 名の会員がいる。ただ、熊をしっかりと駆除できる経験と技術力を持ったハンターは 4、5 名しかいない。今年は、目撃とか痕跡の件数が、20 数件あり、そのうち 10 頭を駆除している。過去には北海道全体で 8,000 頭位が、標準的な頭数だったが、動物愛護の関係もあって、十数年間、春クマ駆除をやめていた経過がある。今の推計では、北海道全体で 1 万 2,000 頭ぐらいヒグマがいると言われており、これから 5、6 年かけて 8,000 頭ぐらいまでまたしていくということで、進められていくと思う。住民の皆様の安全を確保していくということをまず念頭に置いて、しっかりした体制で進めていきたい。
■町内におけるコロナの感染状況について	
町 民	インフルエンザのことは学校閉鎖や学級閉鎖と新聞に出るが、コロナの状況は栗山町でどうなっているのか状況がわからないので教えてほしい。
町 長	後日回答します。
学校教育課長	学校では IT 化を進めており、家庭から学校に欠席の電話が入ると、どの学校の児童生徒が何で休んだか把握できようになっている。最近では小学校でインフル

	<p>エンザが流行っている。大人の方は、ある一定の病院だけが、報告するようになっていて、それが取りまとめられて発表される。ここ最近では1病院あたりだいたい4件程度の報告が上がってきていて、全国的にも北海道が一番多い状況。個別の対応はコロナ流行時のような報告はしていないので、本町でどれだけ感染しているかはわからない。</p>
<p>■空き家の短期利用について</p>	
町 民	<p>町内の空き家を1週間なり、10日なり短期で利用できないものか。例えば、遠方にいる子どもが親の介護目的などで、行ったり来たりするような状況になったとき使えるような。そういう間口みたいなものがあればと思う。</p>
町 長	<p>本町には200軒以上空き家がある。そのうち町の空き家バンクに登録されている空き家や、民間の不動産会社と連携して抑えている空き家もある。短期の借入れに対応できるかどうかということについては、持ち主や大家さんとの調整が必要だということもある。確認させていただきたい。これから社会問題になっていく介護、高齢者対策として町がどう取り組んでいけばよいかという提言だったと思う。それはしっかり受け止め、何とかそういうサービスにも応えていけるようなことができればいいかなと思う。</p>
<p>■外国人について</p>	
町 民	<p>ニセコなどで外国人が土を買い漁っているといった話を聞くが栗山町ではそういったことはないのか。</p>
町 長	<p>今のところそういう問題は生じていない。ただ、他の懇談会でも、外国人の皆さんが栗山町に入ってきて、近所にいる町民が不安だという声が出ている。立ち入りの調査とかはできないが、見回りなどを警察と相談して対応させていただきたい。今、日本人が1億2,000万人ぐらいて、これが6,000万人ぐらまで減っていく中で、経済や、いろいろなサービスを維持していくということになれば、外国人の皆さんに日本に来ていただいて、治安を守りながら人口対策、経済対策をしていくことは避けては通れない。これは栗山町も同じだと思う。今もかなりの外国人の方が農業を含めて入っていただいているので、お付き合いをさせていただきながら、まちの経済を維持していくことは大事なことで、必要なことだろうと思っている。ただ、治安が悪化するようなことがあれば警察と一緒にやって対応できればと思っている。</p>
<p>■人口増対策について</p>	
町 民	<p>人口対策として何かやっているのか。南幌町では若い夫婦に土地を無料で提供しているという話も聞いた。栗山町でもそういう制度があったら、住んでもらえると思うが。</p>
町 長	<p>人口増対策の当面の目標は、10年後に生産年齢人口（若く稼げる世代）が老年人口を下回っていくというターニングポイントみたいなのが訪れるので、そこをなんとか後に持っていく、老年人口を上回るような生産年齢人口を維持確保していきたい。そのための人口増対策を進めている。南幌町は、今、住宅の分譲や住宅政策に力を入れており、全国的に見てもすごく大きい支援をやっている。南幌町は立地的、地域的なものもある。北広島市など本当に近い。国道整備で、かなり優位性が出てきていることもあって、そして近くに江別市とか大きな町もある。栗山町が南幌町と同じ対策をとったら同じような結果になるかといったら、それは別だと思う。本町の場合は住宅を新築した場合や、中古住宅を買ってリフォームした場合に対する支援は、少しずつ効果は出ている。また、住宅支援だけでなく福祉対策や、子どもの医療費の無料化など、全般的な政策の中でやっていくということが大事だと思っており、さらに雇用の場を確保していく必要があるだろうということで、若い世代が栗山町で育って、大学へ行っても戻ってくる。その時働き口があるとか、また高校から栗山にずっと住むとか、いろんなケースもあるので、雇用をしっかりと確保するための企業誘致も一生懸命やっている。第7次総合計画の後期計画策定の中でも、再検討させていただきたい。</p>

<b>■鹿対策について</b>	
町 民	鹿の被害がすごく増えている。先日、夕張市に用事があって行く時に、道路の脇に 40, 50 頭いた。清水沢の街の中にも鹿がいる状況だった。駆除しないから増えると思う。農業被害どんどん増えているので考えていただきたい。
町 長	昔大変だった時代があり、年間の農業被害額が 1 億円以上あった時もあった。その時、南北 100 kmに渡り農業事業者の皆さんにお手伝いいただき鹿柵を全部張った。河川など鹿が抜けられるようなところがあるので、鹿被害がないかと言われれば多少あるが、当時の 1 億の農業被害から比べると、そんなに上がってない。夕張市はそういう対策を恐らくしていないため、国有林からまっすぐ入ってしまう。農業振興公社でもいろいろやっている所以で協議したい。
<b>■ポジポカードのポイントの有効期限について</b>	
町 民	配付されたポジポカードに入っている 2000 ポイントの有効期限は 2 月 28 日だということは分かったが、その後自分でチャージした場合のポイントに使用期限はあるのか。
商工観光課長	6 カ月間です。
<b>■医療機関で予防接種を受けた時のポイントの受領について</b>	
町 民	これからコロナの予防接種を受ける予定だが、ポイントはどのように受け取るのか。病院で証明書のようなものをもらうのか。
商工観光課長	病院で証明書のようなものをもらい、ポジポカードと一緒に役場の住民保健課に持って行くと、すぐにポイントが付与される。